

教科・科目	対象学年	単位数	教科書(発行者)	補助教材(発行者)
芸術・書道I	1年	2	書I(光村図書)	各種プリント
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</li> <li>書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようとする。</li> <li>主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</li> </ul>			
授業の進め方	<p>教科書、プリント、書の話などを交えながら、表現と鑑賞をバランスよく取り入れる。 自身の作品や他者の作品の鑑賞にあたっても、表現の意図について発表したり、互いに批評し合ったりする活動を取り入れる。</p>			
評価の観点と方法	<p>評価の観点…①知識・技能 ②思考、判断、表現 ③主体的に学習に取り組む態度 方法…作品、ワークシート、鑑賞レポート、課題、制作態度等を総合的に評価する。</p>			
学年	単元・学習項目	学習内容・到達度目標		
1年間の授業内容	はじめに	<ul style="list-style-type: none"> <li>書写から書道へ</li> <li>用具・用材を知る</li> </ul>		
	漢字の書の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。</li> <li>線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。</li> </ul>		
	[楷書の学習]	<ul style="list-style-type: none"> <li>楷書による創作</li> </ul>		
	・孔子廟堂碑	<ul style="list-style-type: none"> <li>楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。</li> </ul>		
	・九成宮醴泉銘	<ul style="list-style-type: none"> <li>楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。</li> </ul>		
	・雁塔聖教序	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。</li> </ul>		
	・顏氏家廟碑	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について理解する。</li> </ul>		
	・牛橛造像記	<ul style="list-style-type: none"> <li>手順を理解し、構想を練り、制作へつなげる。</li> </ul>		
篆刻実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆刻による創作</li> </ul>			
・姓名印の制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について理解する。</li> </ul>			
展覧会鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>手順を理解し、構想を練り、制作へつなげる。</li> </ul>			
年間の授業内容	[行書の学習]	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆刻による創作</li> </ul>		
	・蘭亭序	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について理解する。</li> </ul>		
	・争坐位文稿	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について理解する。</li> </ul>		
	・蜀素帖	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について理解する。</li> </ul>		
	・風信帖	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について理解する。</li> </ul>		
	・行書による創作	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について理解する。</li> </ul>		
	仮名の書の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について理解する。</li> </ul>		
	・仮名の筆使い、平仮名、変体仮名	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について理解する。</li> </ul>		
学年	・蓬莱切	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について理解する。</li> </ul>		
	・高野切第三種	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について理解する。</li> </ul>		
	・継色紙・寸松庵色紙・升色紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について理解する。</li> </ul>		
	・仮名の書の創作	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について理解する。</li> </ul>		
	漢字仮名交じりの書の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について理解する。</li> </ul>		
	・漢字仮名交じりの書とは	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について理解する。</li> </ul>		
	・心に響く言葉を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について理解する。</li> </ul>		
	表具実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について理解する。</li> </ul>		
学期	・書いた作品を表具しパネル作品に仕上げる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について理解する。</li> </ul>		
	「響」展にパネル作品を出品	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について理解する。</li> </ul>		

